

オペテトラック Logic CR 人工膝関節システム

再使用禁止

【警告】

骨セメントを使用する際には、術前に使用する骨セメントの使用上の注意を熟読すること〔骨セメントによる重篤な不具合の報告がある〕

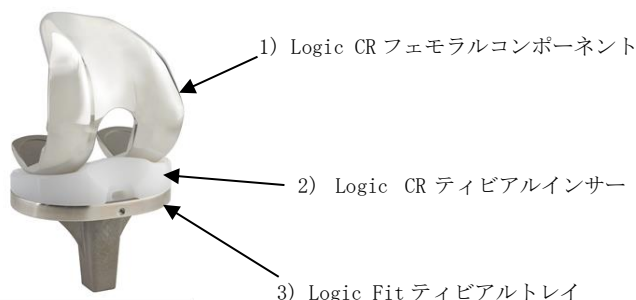
※【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止〔品質の低下や汚染の可能性がある〕
- ・適用対象（次の患者には使用しないこと）
 - 1) 局所性、全身性を問わず、急性もしくは慢性の感染症
 - 2) 手術部位近傍の感染症
 - 3) 重篤な筋疾患、神経系又は血管系疾患
 - 4) インプラントの安定固定を妨げる可能性のある骨量が不十分もしくは骨質が不良の患者
 - 5) その他、移植後のインプラントの機能を危うくする全ての付随疾患：インプラント材料によるアレルギー、腎不全、心不全等〔金属イオンの血中濃度が高まるため〕
 - 6) 側副靱帯が不十分、あるいは欠損している患者
- ・使用方法
 - 1) 他社製のインプラント、専用製品以外の器械・器具と組み合わせ使用しないこと。〔使用上の注意〕3. 相互作用の項参照

【形状・構造及び原理等】

1. 組成、形状又は構造
 - 1) Logic CR フェモラルコンポーネント（コバルトクロム合金）
膝関節の大腿骨の修復または置換に用いる大腿骨コンポーネント。
 - 2) Logic CR ティビアルインサート（超高分子量ポリエチレン）
脛骨トレイと組み合わせて、膝関節の脛骨プラトローの修復または置換に用いる脛骨インサート。
 - 3) Logic Fit ティビアルトレイ（コバルトクロム合金）
膝関節の脛骨プラトローの修復または置換に用いる脛骨トレイ。

＜組み合わせ例＞



2. 原理

膝関節の変性部分と置換することにより、膝関節として機能する。

【使用目的又は効果】

本品は、全人工膝関節置換術において機能不全に陥った膝関節と置換することにより、膝関節の代替として機能する。

※【使用方法等】

基本的な使用方法

＜大腿骨側＞

- 1) 大腿骨遠位端の骨切除を行う。
- 2) フェモラルコンポーネントのサイズを決定、大腿骨遠位部の前/後、角の面取りの骨切除をする。

＜脛骨側＞

- 1) 脛骨近位部の骨切除をする。

＜膝蓋骨側＞

- 1) 膝蓋骨の骨切除をする。
- 2) パテラコンポーネントのペグ用の孔をドリリングする。

＜試整備＞

- 1) 大腿骨、脛骨及び膝蓋骨にトライアル*を装着し、アライメント、安定性、可動域を確認する。

＜脛骨側の最終準備＞

- 1) ティビアルトレイサイズに応じた深さまでドリリングする。
- 2) ティビアルトレイを設置するため脛骨にタンピングをする。

＜インプラントの装着＞

- 1) 脛骨及びティビアルトレイの下面にセメントを塗り、ティビアルトレイを装着する。
- 2) 大腿骨及び大腿骨コンポーネントの内面にセメントを塗り、大腿骨コンポーネントを装着する。
- 3) 膝蓋骨及びパテラコンポーネントのペグがある面にセメントを塗りパテラコンポーネントを装着する。
- 4) ティビアルインサートをティビアルトレイに装着する。

*本申請外届出品

本品は、以下に含まれる構成品と併用できる。

販売名	承認番号
オペテトラック人工膝関節	21000BZY00360000

※詳細は取扱説明書(手術手技書)を参照

※【使用上の注意】

1. 使用注意(下記の患者には慎重に適用すること。)

 - (1) 本品の原材料にアレルギーの疑いのある患者
 - (2) 重篤な骨粗鬆症患者、骨軟化症患者
 - (3) 重篤な骨変形のある患者
 - (4) 局所的骨腫のある患者
 - (5) 全身性疾患及び代謝障害のある患者
 - (6) 一般に低下した患者抵抗性(HIV、腫瘍、感染)を示す患者
 - (7) 感染症や転倒の病歴患者
 - (8) 薬物乱用、喫煙、大量飲酒を行った患者
 - (9) 過度の肥満体の患者
 - (10) 可動域以上での動作や負荷を要する患者
 - (11) 活発なスポーツ及び重労働を行う患者
 - (12) 耐力構造の弱体化(例えば腫瘍、肥大)及び使用された材料での変形(セメント基盤の摩滅や破損あるいはインプラントに対する組織反応)を持つ患者

2. 重要な基本的注意

 - (1) 人工関節置換術の手術手技を熟知している医師にのみ使用可能である。使用前に、本添付文書、製品ラベル、相当する製品、手術手技の情報を十分に理解すること。本製品の使用に関する情報は弊社までお問い合わせください。
 - (2) 製造元は、不適切な適応や手術手技、不適当なインプラントや原材料の選択、及び手術器具の取り扱い、不十分な無菌状態、その他のような理由により起こりうる合併症に関して責を負うものではない。
 - (3) 術者は、患者に事前に手術の目的・内容及び手術で起こりうる不具合・有害事象(【使用上の注意】4. 不具合・有害事象の項参照)についても十分に説明を行うこと。とりわけ、手術の成功を妨げる可能性(【使用上の注意】1. 使用注意の項参照)がある患者には、これらの要因が手術の結果を左右することも事前に伝えておくこと。
 - (4) インプラントの安全性及び寿命に影響する活動をコントロールする方法(例えば、過度の運動を避ける、標準体重を維持する等)をアドバイスすること。
 - (5) 術者は、患者に提供した情報を全て文書で記録しておくこと。
 - (6) 適切なインプラントのサイズ、配置等にはX線あるいはMRIをもとに詳細に術前計画すること。なお、他のサイズが必要な場合や、計画していたインプラントが使用できなかった場合に備えて追加のインプラントを入手しておく必要がある。
 - (7) 下記事項はいかなる状況下においても挿入しないこと。
 - ① インプラントに損傷、擦り傷がある場合
 - ② 不適切に使用されたかあるいは認可されていない方法で加工されたインプラント
 - ③ 既に使用されたインプラント
 - ④ インプラントの包装あるいはラベリングが破損している場合、又は包装やラベリングがされていない場合

取扱説明書(手術手技書)を必ずご参照ください。

- (8) 滅菌済みのインプラントは再滅菌しないこと。
- (9) 使用済みインプラントもしくは開封済みインプラントは、再滅菌しないこと。
- (10) 本品の使用前に滅菌期限及び外箱のラベルの記載(製品番号、サイズ等)が一致しているか確認すること。
- (11) 患者に用いたインプラントのロットナンバーを患者のカルテに記載し、トレーサビリティを確実にする意味から、インプラントに同封されているラベルをカルテに使用すること。
- (12) 外科医又は十分に資格のある専門家によって一貫した術後治療を行い、文書化すること。
- (13) 非臨床試験によって本品は、**MR Conditional** であることが示されている。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に **MR** 検査を実施することが可能である「自己認証による」；
- ・静磁場強度：1.5 T、3.0 T
 - ・静磁場強度の勾配：1,900 Gauss/cm(19.00 T/m)以下
 - ・MR 装置が示す全身最大 SAR：2.0 W/kg(通常操作モード)
- 上記条件で 15 分のスキャンにおいて本品に生じ得る最大の温度上昇は 6.9℃未満である。本品が MR 装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から 8.7cm である。

T：Tesla、磁束密度の単位、1 T = 10,000 Gauss

SAR：単位組織質量あたりの吸収熱量、単位は W/kg

【保管方法及び有効期間等】

貯蔵方法：高温、多湿、直射日光を避け、室内で保存
有効期間：外箱の表示を参照

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：
イグザクテック株式会社

製造業者：
Exactech, Inc.(米国)

3. 相互作用

併用禁忌(併用しないこと)

医療機器	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
製造業者の推奨する人工膝関節以外の製品	機能不良、ゆるみ、摩耗、破損または早期不全が生じる恐れがある。	インプラントの関節面が正確に適合しないことにより、インプラントの固定が不確実になる。
製造業者の推奨する専用器械セット以外の器械セット	インプラントにゆるみが生じる恐れがある。	インプラントのサイズが正確に適合せず、正しく埋植されないことにより、インプラントとの固定が不確実になる。

4. 不具合・有害事象

本品の使用において、患者の状態、骨部の形態等により次のような不具合・有害事象がまれに発生することがあるので、異常が認められた場合には直ちに適切な処置を行うこと。

(1) 重大な不具合

本品の使用により、以下のような不具合が現れた場合は使用を中止し、適切な処置を行うこと。

① 過度の負荷や不適切な手術等によるインプラントの破損

(2) 重大な有害事象

本品の使用により、以下のような有害事象が現れた場合は直ちに適切な処置を行うこと。

① インプラント材料によるアレルギー

② 静脈血栓症、肺血栓症

(3) その他の不具合

① インプラントの緩み、摩耗、機能低下

(4) その他の有害事象

① 脛骨あるいは大腿骨の骨折

② 感染症

③ 疼痛

④ 心血管系、肺疾患(例：脂肪塞栓症)及び神経機能障害

⑤ 子宮留血症、創傷子宮留血症及び創傷治癒遅延

⑥ 一時的な腓骨麻痺

⑦ 膝蓋骨の脱臼又は亜脱臼

⑧ 薬物の有害な影響

⑨ 不十分な機能性

⑩ 靱帯損傷

⑪ インプラント表面の摩耗及び異物反応に起因するインプラント周辺の骨溶解

⑫ 金属製インプラントの内在に起因する X 線や MRI、CT 画像へのハレーション等の干渉又は MRI による発熱

5. 高齢者への適用

高齢者は一般的に骨量・骨質が十分でないことが多いので本品の使用は慎重に行うこと。

6. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

妊婦、産婦、授乳婦及び小児等には使用しないこと。